

リュープロレリンで 子宮内膜症、子宮筋腫の治療を 受けられる方へ

監修

一般財団法人 倉敷成人病センター 院長

安藤 正明 先生



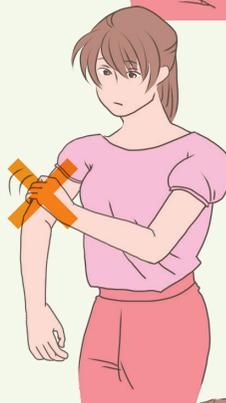
リュープロレリンで 子宮内膜症、子宮筋腫の治療を 受けられる方へ

- 1** このお薬の効果は4週間つづきます。
必ず4週に1回投与を受けるようにしてください。



カレンダーやスケジュール帳に記載しておきましょう

投与日	次回投与日
月 日	月 日



- 2** 投与部位をもまないようにしてください。

- 3** 初回注射のあと一時的に症状が悪くなったり、不正出血がみられたりすることがあります。これらは通常、治療を続けるうちに消失しますが、出血がみられた場合、次回来院時に医師にお伝えください。リュープロレリンによる治療中、月経周期を調節するエストロゲンの低下により、生理は止まります。治療終了後、ほとんどの方で生理は再開しますが、再開までの期間には個人差があります。一方、治療中に閉経を迎えた方では生理は再開しません。



裏面もご覧ください。

- 4** エストロゲンの低下により、ほてり、頭痛、肩こり、むくみなどの更年期症状があらわれることがあります。このような場合は医師にご相談ください。



- 5** 治療中は必ず避妊してください。ピルなどのホルモン剤は、リュープロレリンのはたらきに影響する可能性がありますので、避妊はそれ以外の方法で行いましょう。将来、妊娠を希望される方は妊娠のタイミングを医師とよく相談しておきましょう。



- 6** 治療中、骨量の低下がみられることがあります。予防のためにも、できるだけ毎日、散歩などの適度な運動を行い、バランスの良い食事を心がけましょう。牛乳、チーズ、小魚など、カルシウムの豊富な食材を積極的にとるようにしてください。



気になることや不安なことがございましたら、
医師、看護師、薬剤師にご相談ください。

医療機関名

監修

一般財団法人 倉敷成人病センター 院長

安藤 正明 先生

 NIPRO

2017年8月作成

